

地域医療構想調整会議の今後の進め方について

平成30年8月20日

医 務 薬 事 課

○ 国からの要請

地域医療構想の推進について、国では、昨年来、各都道府県に対して、平成30年度末まで各医療機関が2025年を見据えた担うべき役割の明確化や、各医療機関が持つべき医療機能毎の病床数に係る協議を行うことなどを要請している。

(1) 地域医療構想の進め方（課長通知 H30.2.7）

また、6月には、県単位の調整会議や県主催研修会の開催のほか、地域医療構想アドバイザーの推薦の通知など、地域医療構想の実現に向けた都道府県の取組を強く求めている。

(2) 地域医療構想調整会議の活性化に向けた方策（課長通知 H30.6.22）

(3) 地域医療構想アドバイザーの推薦（事務連絡 H30.6.26）

○ 調整会議の進め方

- ・ 県医療審議会で、「各構想区域の地域医療構想調整会議における今後の進め方について」を提案し、地域の固有課題（別紙）を協議する。
- ・ 各区域の調整会議において、公立病院・公的病院が2025年を見据えた自らが果たす医療機能等について説明・協議するとともに、固有課題についても議論していく。

※スケジュール

・ 7月18日(水) : 医療行政懇談会(県医師会と協議)

↓

・ 8月20日(月) : 医療審議会

↓

・ 9月以降 : 地域医療構想調整会議

↓

(必要に応じて) : 調整会議(専門部会、意見交換会等)